

青山附属同窓会の公式フェイスブックページを開設しました。

すでに四〇〇名を超える同窓生・旧教職員の皆さんが参加され、多くの投稿でにぎわっています。

定番はやはりクラス会の報告。しばらく開けなかったクラス会ができるようになり、久しぶりに集まった集合写真は、それだけで母校のつながりを実感させます。

一九八三年まで在職された岡田先生が投稿してくださいました、がんばり遠足や臨海学校に関するシリーズ記事も、幅広い学年の卒業生のコメント

を含めて読み応えがあります。

私たち役員も、幹事会などの集まりの都度、小学校の四季折々の様子を投稿しています。九月は低学年の教室の前に、夏休みに家で育てたアサガオの鉢が並んでいました。

同窓生の交流・情報交換の場としてぜひご利用ください。

参加はフェイスブックで「(公式) 青山附属同窓会」のページを検索してください。

なお、当方は十八歳以上(高校卒業後に相当する学年から)の参加とさせていただきます。ご了承ください。

(野口尚志)

## フェイスブック開設!!

# 藤棚

## 55号

世田谷区深沢 4-10-1  
東京学芸大附属世田谷小学校内  
青山附属同窓会

<https://aoyama-dosokai.jp>

青山附属同窓会 検索

発行人 森 昭彦  
編集人 斉藤研一

### 同窓会 Facebook

同窓会の Facebook グループを立ち上げました。

Facebook 上で「青山附属」と検索してみてください

<https://www.facebook.com/groups/aoyama.dosokai/>

クラス会開催の報告記事を募集しています。「千倉に行ってきましたよ!」といった報告や、写真のみの掲載も大歓迎です。ご一報、お待ちしております。



## 第9回 藤の実 Family Day

2024年2月17日(土)

9:30 ~ 13:00 (未確定)

📍 附属世田谷小にて開催

近年、附小で毎年開催されている青山会(父母会)主催の「藤の実ファミリーデー」が今年度9回目を迎えます。バザーのようなお祭りで、児童や保護者、先生方や卒業生が自由に集い、ゲームをしたり買い物をしたり食べたり、楽しく過ごす日です。

今年度から青山附属同窓会も出店させていただくことになりました。まだ何をするかは未定ですが、この機会に、多くの同窓生の皆さんにも足を運んでいただきたく、お知らせいたします。事前の参加申し込みは不要です。

従来、三年ごとに開催していた「懇親会」のかわりに、定期的同窓生が母校で集える機会とすることができればと考えております。懐かしの母校で集い、ファミリーデーを楽しんでから、そのあと旧友達とクラス会へ流れる……なんて週末にするのもおすすめです。詳細については、今後、同窓会ホームページと Facebook で情報をアップデートしていきますので是非ご覧ください。

多くの同窓生のご来場をお待ちしています!!

# 附属小学校の近況

副校長 越後 佳宏

2023

同窓会の皆様、いつも附属小学校をあたたく見まもりご支援をいただき、ありがとうございます。

開校から百四十八年目を迎えました。

文部科学省から指定を受けている「研究開発学校」では、『学びを自分でデザインする



だるまさんが転んだ

子ども』を育む教育課程の創造」を研究主題として最終年度を迎えました。昨年度から実施している一〇六年生が各五〇六人で編成されるHomeの活動、学年ごとに行われる教科学習(Class)の活動(一・二年生は学級担当、三〇六年生は教科担当)、一昨年度から実施しているLaboratoryの活動(三〇六年生)の三つの活動領域での学校生活が二年目となりました。

六月十七日には、研究発表会を開催し、これまでの研究について発表することができました。

今年度は、五月二十四日(水)には、Homeを活動主体として駒沢公園へ全校遠足に行きました。本校に長くお勤めの先生に伺っても、全校遠足を実施した記憶がないというほど、本校では久しく実施していなかったようです。広い駒

沢公園でHome内をいくつかのグループに分けてオリエンテーションをしたり、Home毎にいろいろな活動を考えたりにして、青空の下、たのしい一日を過ごしました。

今年度はHomeを活動主体とした行事として、一学期の五月には全校遠足、七月には富士山のふもとへ宿泊活動、二期の十月にはスポーツフェスティバル、十二月にはHomeフェスティバルを計画しています。これらの活動を通して深まったHomeの絆を基盤にして、三学期の卒業の会を迎えます。

## 【教員の異動について】

☆お世話になった先生

### ▽丸田文字 先生

昭和六十一年に本校に赴任され、途中平成二十一年度は世田谷中学校へ転出されましたが、令和元年度までの三十二年間、その後、昨年度までの四年間を継続雇用講師として、計三十六年間の長きにわたり本校にお勤めいただきました。

本校の保健室で、全校の子どもたちの健康と安全を守っ

ていただきました。子どもたちが安心して学校生活を過ごせたのはひとえに丸田先生のおかげと思っております。

今後、お健やかに、ごゆっくりと過ごされることを祈念しております。

### ▽朝蔭恵美子 先生

平成三年に本校に赴任され、途中平成二十一年度は竹早小学校へ転出されましたが、三十一年間本校に在職されました。

音楽がご専門で、朝蔭先生がピアノの演奏を始めると、知らず知らずのうちに子どもたちは引き込まれていました。音楽の授業に限らず、先生が笑顔で話されると、普段やんちゃな子どもも、とても素直になってしまいました。

昨年度まで主幹教諭というお立場で学校の屋台骨を支えていただきました。

昨年度末で一区切りされ、今後も継続雇用非常勤講師というお立場に変わりますが、引き続き学校を支えていただきます。

### ▽森尻彩 先生

平成二十八年に本校に赴任され、七年間在職されました。

朝蔭先生と同様、音楽がご専門で、美しい歌声で、子どもたちをひきつけました。音楽の授業だけでなく、担任の先生としても活躍され、いろいろな教科の研究会に積極的にも参加されるなど、とても勉強熱心な先生でした。海外での留学のご経験もありで英語も堪能でした。

これから、しばらくはご家族でカナダにて過ごされること。お健やかに過ごされることを願っております。

### ▽大澤俊介 先生

平成三十年に本校に赴任され、五年間在職されました。理科がご専門で、VRを活用して人の体内の様子を見るなど、新しいことにもどんどんチャレンジされ、学校に新しい風を吹き込んでくださいました。その姿勢は、児童への学習指導にとどまらず、我々教員の働き方にも及び、現在のカフェ風の教員室への改装を中心になって進めてくださいました。

今年度、世田谷区立城山小学校へ異動されました。旋風を巻き起こしているのではないかと推察いたします。今後

## 二〇二二年度の同窓会 幹事長 森 昭彦

まず初めに、附属世田谷小学校は明治九年に現在の千代田区内幸町一丁目に東京府小学師範学校附属小学校として開校して以来、三年後に一五〇周年を迎えます。その一五〇周年記念行事を同窓会として大々的に成功させたいと考えております。そのためには、同窓生の皆様のご協力が不可欠ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、同窓会名簿に登載されている人数は、明治二十三年卒の方から(それ以前の名簿は明治二十二年の火事により焼失)一万三五五五名ですが、うち、名簿上、本年七月現在で生存とされる方は一万二〇四名です。このうち七割の方のご住所がわかっています。

山荘に行った、燕山に登った、林間学校に行った、がんばり遠足をした、運動会でソーラン節を踊った、等々。昨年開設された同窓会公式Facebookをみますと一層その感を強くします。また、同窓会報「藤棚」に寄せられた記事を通して、私たちはこのような教育を受けてきたのだ、そこには先生方のこのような意図があったのだなどと、今更ながら気づかされることがあります。

別稿にもありますように、小学校の新しい試み「ラボの時間」に協力できる方を探すことに、同窓会も協力することとなりました。Facebook開設は、単に思い出の共有だけでなく、このような人材発掘をも意図しております。同窓生の皆様のご協力を是非ともお願いする次第です。

本年度、一〇年間会長をお願いした庭山会長が退任され、別記のように、新たに

一九七五年(昭和五〇)卒の力健一郎さんが新会長として幹事会で選任されました。新会長のリーダーシップの下、今まで規約に定められていたものの、実際には配置していなかった副会長や副幹事長を任命し、同窓会の機動力を高め、三年後の一五〇周年記念に備えることになりました。

しばらくコロナで休止しておりました懇親会については、従来の形式を改め、新しい試みとして、小学校のPTAである青山会が来年二月に催すファミリーデイに参加する形で行うことにしました。当日は、会場の一角に同窓会のコーナーを設け、同窓生に自由に参加していただき、また子ども達とも交流できる場を考えています。具体的な内容につきましては、決定次第、各クラス幹事や、同窓会ホームページ、Facebookを通じてお知らせいたします。

クラス幹事は卒業時にクラスごとに決められておりますが、交代したり、住所を変更されたりした場合は必ず同窓会あてにご連絡ください。幹

のご活躍をお祈りいたします。

### ▽庄司佳世 先生

平成三十一(令和元)年度に本校に赴任され、四年間在職されました。

体育がご専門ですが、書道も素晴らしい腕前で、着任の挨拶の時に、床に広げた大きな紙にほうきのような太い筆で見事な書をご披露してくださいました。昨年度のLaboratoryでは日本文化を担当され、水引の飾りをつくったり、紋切り遊びについて追究したりする活動を支えられました。ご自身も着物の着付けを学ばれる等、アクティブに活動されました。

今後は、淑徳中学高等学校で中学生と高校生のご指導にあたられるとのこと。ご活躍をお祈りいたします。

### ▽高橋麻里奈 先生

令和二年度に本校に赴任され、三年間在職されました。

理科がご専門です。一年目のLaboratoryでは、オカルトや都市伝説を科学的に追究する「オカルトと科学」ラボを開設し、子どもたちの興味を掻き立てる素晴らしいプレゼンをされ、百名もの子どもたちの興味をそりました。

とてもたくましい一面もあり、これまでに世界各国を働きながら旅をされ、地球をほぼ半周されたご経験もありとのこと。今後は残りの半周を旅されることが目標とのこと。

海外でのお仕事もされたいとの意向も伺っておりますので、ご活躍を祈念しております。

事会開催通知が届いた方は、クラス幹事に選ばれておられます。クラス幹事以外の方で、

誰が幹事なのか知りたい方はご連絡ください。また、実際にクラス会や同期会の世話役を引き受けておられる方も多くありますが、それらの方

も、ぜひクラス幹事になっていただければ幸いです。

この「藤棚」に振込用紙が同封されている方は、同窓会費未納の方です。ぜひ同窓会費をお納めくださるよう、よろしくお願いいたします。

## タイムカプセル掘り起こしのご報告

二〇一三年(平成二十五)卒 一組 日野真毅



学級活動の一環として、「卒業の会」の後にタイムカプセルを小学校に埋めました。これを掘り起こすのは、全員が二〇歳になった、クラスで最

後の誕生日を迎える二〇二一年三月二十六日という約束で。

この約束はパンデミックによって正確に叶うことはあり

ませんでした。掘り起こすまでに度重なる延期や感染症対策の徹底など、幹事の執念と苦勞の末、一年の時を経て、ようやく二〇二二年七月二十九日に掘り起こすことができました。情勢が不安定な中、快く掘り起こしの許可を頂けた越後副校長先生、協力していただいた事務員さんの方々には感謝できません。ありがとうございました。

した。

さて、当日は天候にも恵まれ、二十一人のクラスメンバーと幸阪創平先生の出席のもと、掘り起こし作業を行いました。最初は掘った先にタイムカプセルがないといったプチトラブルもありましたが、なんとか見つけることができました。

埋めた当時を思い返すと、大切なモノと成人後に飲む予定のワインを一〇年近く地面に埋めるのだから頑丈な入れ物の方がいいという意見のもと、そこそこ高価なカプセルを購入した覚えがあります。ただ、その甲斐もあり、中身は破損もなく全て無傷な状態で出土しました。

タイムカプセルの中には、「二〇歳の自分へ」と題した手紙や、運動会で使用した大漁旗、掘り起こしたあとに飲む予定だった赤ワイン、学級活動で作成したであろうポスター、行事ごとに撮影した集合写真など、思い出を振り返るには十分すぎるモノがたくさん入っていました。タイムカプセルを掘り起こ

した後は、上校庭にある藤棚の木の下で休みつつ、特に目を引いた〇〇ランキングをみんなで見っていました。ランキングには将来すごい仕事に就いていそうな人や結婚が早そうな人など、今考えるとセンチティブな内容を含むランキングでしたが、よく見ると全員の名前が必ず一回は登場していることに気づきました。

思えばクラスでいつも「相手を思いやれ」と幸阪先生が口酸つぱく言っており、このランキングも「誰がいつ見ても悲しくならないように」作ったのを思い出しました。常に周りを見て配慮することができる大人になれているかは分かりませんが、多様性が叫ばれる現代を生きる上で大切な観点を先取りで教えられていたのだと、改めて幸阪先生の凄さを実感しました。

私たちの代もそろそろ社会に飛び出す時期になりました。この先もさまざまなこ



とにぶつかると思いますが、附属世田谷小学校で六年間、「人」として成長してきた私たちなら、必ず自分らしく生きていけると思います。

改めて、かけがえのない経験をたくさん積ませてくれた附属世田谷小学校と、何年経っても変わらない関係でいられる友と出会えたことに、心より感謝申し上げます。今後も定期的に連絡をとり、この繋がりを大切にしていきたいと思えます。またいつか集まるときまで。

### 全員還暦のクラス会

一九七五年(昭和五〇)卒 一組 一力健二郎

二〇二三年三月二十五日、一九七五年一組卒(飛翼)で、久しぶりのクラス会。

我がクラスの各自の誕生日は、最初が四月三日で、最後は三月二十一日。数年前から「全員が還暦の時に集まろう」と企画し、コロナ禍で断念せざるを得ないかと思われまし

たが、なんとか治まりつつある中、開催できました。

四十一名で卒業し、四名が鬼籍に入り、存命は三十七名。連絡先が分かっている三十二名のうち二十名が参加。遠くはサンフランシスコからも。還暦記念のクラス会を、正に全員が六〇歳の日に実現できました。



六年間クラス替えが無かったこともあり、久しぶりに集まっても、皆、一瞬で昔に戻り、あの頃の話しから、悲喜こもごもの近況まで、何でもストレスなく話せる、かけがえない仲間です。これを機に、遅ればせながらグループLINEを開設。皆との連絡も簡単に行えるようにして、同級生の吉田恵美子さんがスクールカウンセラーとして、週一、附小で勤務して

### 入学五〇周年記念、しらかばクラス会

一九七九年(昭和五十四)卒 一組 石川美貴子

コロナ禍の二〇二〇年十一月、岡田先生の受勲というビッグニュースに急仕立てのZoomクラス会を開催しましたが、リアルな集合はもう忘れてしまうくらい前のごと。そんな「しらかば」リアル・クラス会が、満を持して七月一日に附小軍団御用達のお店、都立大学の「ひのや」さんで開催されました。

雨季の最中に集まったメンバーは十四名。岡田先生を囲んでわきやわきやと、アラカンのオトナの集まりのはずが、いつの間にか小学生の賑やかな時間に。まあ：変わらないうですよね、根っこ

は。とても楽しい時間でした。今回の開催は、幹事コンビによる見事な仕切りと、チーム「しらかば」の打てば響く素早いリアクションの賜物です。疫病がらみでずっしり重くなっていた逢瀬の腰を再び上げおこした功績は、とても大きいと思います。

トリコン、クワ、お疲れ様でございました。おかげさまで、また繋がりました。ありがとうございます。出会ってから数えて半世紀、小学校の仲間とこれだけ長く繋がっているのは珍しいと、あちこちで驚かれます。ラッキーな、稀有な繋がりが、なんだな、と思います。だから、

いることもあり、藤棚の開花情報を共有するなどして交流しています。二年後の卒業五〇周年は、皆で千倉、「ちくらつなぐホテル」に泊まりに行こうと思っています。



これからもこんなふうには時々集ってタイムマシンに乗りながら、人生を楽しんでいきましようね♪ 今回逢えなかつたみんなは、また次でね!

## 私の学校生活

元教諭 大熊(伊藤)恵子

学校が大好きです。小学校入学から大学院修了までの十八年。

昭和三十年の一年生は、一クラス六十三名。団塊の世代です。仕方ないとはいえず、担任の先生は凄い。学芸会で「子猫」の主演。仲間をいじめず、みんな仲良くしましよ。うというテーマでした。母が薄茶色のコールテンでスカートを作ってくれました。生地と一緒に買いに行ったことが、なぜか強く記憶に残っています。

四年生の夏に、奥沢から用賀へ転居。転校はしたくない

大熊恵子  
(旧姓 伊藤)

と、弟と私は電車通学を始めました。ラッシュの朝、当時、三つ編みにしていた髪にサラリーマンの背広の袖口のボタンが引っかかり、困ったことを今でも思い出します。その学校は区立ですが人気があり、学区外から電車通学の児童が多く、定期を首から下げている友人が何人もいて、憧れていたもので、それは叶いました。中学は歩いて通える地元学校へ。誰一人知り合いないません。でも、持ち前の凶々しきで苦にはなりません。麦畑やキャベツ畑を眺めながらの通学。途中、養豚場があり、新しい友人と鼻をつまみながら走って通ったりしていました。中学時代は、頑張つて勉強したことはなく、父に「のん中だね」と言われました。

ところが高校で

は全くついていけず、いつも成績は低空飛行。部活はダンス部に入り、これまた父に「真似バレー」と揶揄されました。でも、友人には恵まれ、今でも仲良くしている人たちです。

大学受験で、滑り止めのつもりの大学に落ち、製菓の専門学校に行こうと思ったりしていました。運よく学芸大学の家庭科に受けました。そこでも創作舞踊部に二年ほど籍を置き、舞台も踏みました。その間、小さい頃からの念願だった車の免許を部の先輩と一緒に教習所に通い取得。

二年生の時には、小金井祭で、当時、家庭科生が模擬店「野菊」を出店し、そのリータをしました。仲間に助けられ、よい経験をすることができました。

いよいよ大学三年生です。世小での三週間の教育実習が始まり、六年一組上田学級に配属されました。上田先生の素晴らしさに圧倒され、生涯を通して、これほど頑張った日々はないと言えるほど、全力投球しました。家庭科代表で授業もさせていただきました

だが、指導案もろくに書けず、亀岬先生が大部分訂正してくださいました。

大学四年の区立小学校での実習では、全く力が入らず、自分の不甲斐なきに自信喪失。この時点で卒業後、社会に出ようという気持ちがなくなっていました。今思うと、大学院への進学は逃避行動だったと。

大学院修了後に、非常勤で世小が迎えてくださいました。同時に世中、都立高校の非常勤も兼任した一年間でした。その次の年、正式に採用され、しかも三年生の担任に。一組は石野先生、二組は上田先生という学年でした。四年生の時は、平林先生と松山先生という素晴らしい先生方。守つて下さったという感じです。ありがたかったです。二年間の担任を終え、私は伊藤から大熊へと姓が変わり、今に至っています。

七十四歳になりましたが、病気をしたり、いろいろありますが、まあまあ幸せな人生を送ってきたと思います。

長男が高校卒業の記念にい

ただいた湯呑に、「お一人様一回限りの人生」とあり、最近、とみに心に響きます。

「埠頭涼シわが生還ハ夢二あらず」。五十三歳という短い人生だった父の、戦後捕虜生活を終え、復員してきた時の言葉です。戦争を知らない私ですが、当時の父の気持ちを考えると胸にこみあげるものがあります。

そして、今頃になって、父に戦争の話聞いておけばと、まさに後悔先に立たずです。わずかな父から聞いた話に、捕虜生活の方が食事もよく、アメリカの缶詰のおかげで体調も改善したとのこと。片言の英語で米兵とも仲良くなり、しばらくは文通もしていたようです。遅ればせながら、兵歴の調査を厚労省に申請せねばと思っています。

地球上、ウクライナをはじめ、戦争や紛争が今なおあり、自分で自分を守れない人々が多くいます。私は何もできませんが、とにかく、世界の平和を願ひ祈ります。

# 青山荘で子供も教官も鍛えられた

元教諭 伊東 富士雄

今、一九八八年(昭和六十三)五月二十九日の学級通信「教育随想」252号に目を通している。

四年生と千倉青山荘の移動教室に行ったときのことである。千倉駅を降りて青山荘まで徒歩でおよそ三〇分の道が続く。重たいスーツケースを預けてしまい、子供たちは軽装で二列に並んで友達と自由に思い思いの話をしながら歩いて行く。さすが早場米

地帯とあって、水田は田植えが終わわり、緑色の苗が水田を覆い尽くしている。水田の端には植え残りの稲が置いてある。畑には様々な作物が植えられている。理科学習で自分たちも植えたジャガイモを見ているのはそう難しいことではない。水田の近くに大きなビニルハウスの姿も見える。のどかな田園姿の中を一路青山荘に向かうのである。しかし、先頭を歩いている

わたしの耳に聞こえてくる子供たちの話は、今千倉に来ていることを全く感じさせないようなファミコン(ドラクエⅢ)についてであった。

さあここから子供たちと私たち教官(当時そう呼んでいた)との戦いが始まる。そして、青山荘での移動教室の四日間を過ごした子供たちは、次のような第四日目の日誌を書いた。

今日はいよいよ東京へ帰る日です。もう今日は生活

のまとめをしなければなりません。ふとんをたたきみましたが、ぼくたちは日頃たたんでいないのがグチャグチャになってしまいました。やはり日頃の生活がわかってしまいます。それから朝ごはんをたべました。なぜかおいしいような気がしてたまりません。それからそうじでした。しかし、これははやくできました。友達ができた(スイカ)の名産地という題の歌の替え歌作りです。名産地(スイカ)をぬかして、全部変

えました。ぼくたちは、おいしいものができた『お米』の名産地にしました。発表するとき緊張して声が小さくなってしまいました。

## すいかの名産地

ともだちができた すいかの名産地  
なかよしこよし すいかの名産地  
すいかの名産地 すてきなところよ  
きれいなあの子の晴れ姿  
すいかの名産地

## 千倉はお米の名産地

おいしいものができた お米の名産地  
みんなが食べる お米の名産地  
お米の名産地 田んぼで作る  
手間ひまかけて育てていく  
お米の名産地

生活に比べて、学習の充実ぶりをうかがわせる内容である。行きには素通りした水田について、社会科学学習の成果を替え歌にまとめている。今考えると、わたしたち教官も



ファミコンに対して一矢を報いることができたようである。附属世田谷小学校は、子どもを育てる場だけでなく、私たち教官を教師として鍛える場でもあった。一例を紹介しよう。

今から七年前の二〇一六年十一月の夕方、青森県弘前市内の居酒屋へ、附属世田谷小学校社会科学部のOBと現役部員一〇名が集まった。その中に世田谷小で子供として社会科学の授業を受けて育ち、現在、京都の大学で社会科学教育を教えている卒業生もいた。ほとんどの者が東京を中心に活動しているのに、東京では一同に会することができず、地方で開催される学会で会うことを楽しみにしている変な集団である。附属小学校時代に鍛えてもらったお陰でこのような場にいることが出来る幸せを感じているのである。



新発田城にて

## 2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)青山附属同窓会 会計報告

2. 経常会計(単位：円)

収入	金額	支出	金額
前年度より繰り越し	15,044,424	2022藤棚印刷費	342,320
		名簿印刷費	1,660,856
収入	2,760,976	回線使用料	75,549
銀行利息	126	データ管理費	182,820
		事務手数料	107,490
		2022藤棚・名簿発送費	1,080,043
		通信費	119,828
		事務用品費	6,254
		慶弔費(弔事・卒業祝)	0
		交際費	7,128
		会議費	0
2020年度収入合計	2,761,102	交通費	0
		振込手数料	53,253
		会費返金2名分(5000+25000)	30,000
		本年度支出計	3,665,541
		次年度へ繰越	14,139,985
合計	17,805,526	合計	17,805,526

1. 同窓会基金(単位：円)

収入	金額
前年度より繰り越し	3,304,195
銀行利息	56
証明書手数料	550
合計	3,303,701

3. 資産の部(単位：円)

明細	金額
同窓会基金分	
三菱UFJ信託銀行 合計	3,303,701
経常会計分	
三井住友銀行通知預金	1,500,000
三井住友銀行定期預金	3,024,089
三井住友銀行普通預金	7,766,919
ゆうちょ銀行総合口座	980,875
ゆうちょ銀行振替口座	795,457
現金	72,645
合計	14,139,985
基金+経常会計合計	17,443,686

会計監査承認 会計監事 一力健一郎



↑ 1969年(昭和44)卒2組 2022.11.24  
← 1966年(昭和41)卒3組 2023.6.4

フェイスブックから投稿していただいたクラス会写真です(転載をご許可いただき、ありがとうございます！)。同窓生の交流の場として、どうぞご活用ください。たくさんのご投稿、お待ちしております。

フェイスブックから  
こんにちは

### ◆本年度の同窓会役員

「二〇二三年度の同窓会」(3頁)にもあるように、三年後の一五〇周年記念にむけて体制を一新しました。今後とも、どうぞよろしく願いたします。

また、同窓会運営にご協力いただける方は、是非、お声を掛けてください。一緒に同窓会を盛り上げていきましょう。

- 会 長 一力健一郎(昭和五〇年)
- 副会長 岡市典子(〃五三年)
- 齊藤研一(〃五四年)
- 幹事長 森 昭彦(〃三〇年)
- 副幹事長 小林哲子(〃五四年)
- 会計監事 坂内 隆(〃五〇年)
- 野口尚志(〃六三年)
- 常任幹事 小野聖穂(〃二九年)
- 幣原 廣(〃三七年)
- 山本剛久(平成六年)
- 瓶子可南子(〃八年)
- 日野真毅(〃二五年)

### 編集後記

クラス会開催の報告記事を募集しています！掲載を希望するクラスは、ハガキかメールで、同窓会までご一報ください。後日、折り返しご連絡いたします。

同窓会メールアドレス

aoyama-dosokai@edit.ne.jp

### ◆青山の記念碑

前号でお知らせしたように、港区に保存の申請をし、その回答待ちの状態です。

### ◆さくらプロジェクト

大学が樹木調査を予定しており、それまでは、同窓会として動きがとれない状態です。一五〇周年記念にあわせて、植樹イベントを開催したいという声も上がっています。

### ◆秋の千倉

美味しい果物と海の幸。そう、だ千倉、行こう。